第15回硫黄島に係る遺骨収集帰還推進に関する関係省庁会議要旨

日　時：令和５年４月28日(金)14:00～14:30
場　所：官邸３階南会議室
出席者：木原誠二内閣官房副長官（内閣総理大臣補佐官）（議長）、出口和宏内閣官房副長官補付内閣審議官（副議長）、吉住秀夫内閣官房副長官補付内閣参事官（財務担当）、岡野智晃内閣官房副長官補付内閣参事官（厚生労働担当）、宮本康宏内閣官房副長官補付内閣参事官（防衛担当）、入谷貴之外務省北米局北米第一課長、本多則惠厚生労働省大臣官房審議官（援護担当）、浅見高嗣厚生労働省社会・援護局事業課長、星野正司厚生労働省社会・援護局事業課事業推進室長、杉山真人防衛省大臣官房施設監、吉野幸治防衛省大臣官房文書課長、北岡亮防衛省整備計画局施設計画課長

概　要：

【木原誠二内閣官房副長官（内閣総理大臣補佐官）挨拶】

○　本日は、令和４年度の取組状況を厚生労働省から報告いただくとともに、取組方針の修正案及び令和５年度の実施計画案について議論し、決定することとする。

○　遺骨収集に関しては、平成28年４月に施行された遺骨収集推進法により国の責務に位置づけられている。法の趣旨を踏まえ、引き続き、関係省庁が連携し、取組を一層強化していきたい。

【令和４年度の硫黄島に係る遺骨収集帰還の取組状況の報告】

○　厚生労働省より、主に資料１（令和４年度の取組状況等）に基づき、以下の通り説明。

・　滑走路地区の未探索壕１ヶ所については、閉塞地点の先に地上に向かって延長部が存在することが確認されており、令和４年度は延長部へ入壕するための開口工事を実施した。

・　滑走路周辺部の探索済み壕については、令和４年度に２箇所の壕の調査をした結果、滑走路方向の延長が推定された。

・　滑走路地区東半面において、290箇所の面的ボーリング調査を実施。壕と思われる１箇所の空洞を確認した。

・　令和４年度は外周道路外側において75柱の御遺骨を収容した。

【令和５年度硫黄島関係厚生労働省関係予算の報告】

○　厚生労働省より、資料２（令和５年度硫黄島関係厚生労働省関連予算）に基づき、以下の通り説明。

・　令和５年度予算の硫黄島の遺骨収集経費は、約1,512百万円を計上した。

・　御遺族を主体とした慰霊巡拝を実施するための経費は約30百万円を計上した。

【平成 26 年度以降の硫黄島に係る遺骨収集帰還の取組方針（修正案）について】
【令和５年度の硫黄島に係る遺骨収集帰還の実施計画（案）について】

○ 厚生労働省より、資料３－１（平成 26 年度以降の硫黄島に係る遺骨収集帰還の取組方針（修正案））、資料４－２（令和５年度の硫黄島に係る遺骨収集帰還の実施計画（案））について、以下の通り説明。

- 取組方針（案）については、令和４年度の実施状況を更新し、令和５年度の実施予定を記載している。
- 令和５年度の実施計画（案）については、取組方針（案）に基づき、令和５年度に実施する「１．滑走路地区等の掘削・遺骨収容の実施」、「２．外周道路外側の面的調査により確認された壕等からの遺骨収容の実施」、「３．滑走路地区周辺以外の地下壕探査の実施」等について防衛省の支援を受けて実施するといった内容を記載している。

○　出席者から意見はなく、原案の通り了承された。

【令和４年度日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式及び天山硫黄島戦没者慰霊追悼顕彰式について】

○　外務省から参考資料３に基づき、令和４年度の日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式及び天山硫黄島戦没者慰霊追悼顕彰式の結果概要を説明。

【終わりに】

○　木原誠二内閣官房副長官（内閣総理大臣補佐官）から、今後の遺骨収集帰還については、本日決定した令和５年度実施計画に沿って、引き続き関係省庁一体となって適切に取り組むようにと発言。